



新星

Shinsei
2020 Vol.33

2020年2月7日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
- 3 第62回日本病院・地域精神医学会に参加して／行動制限最小化委員会院内研修
- 4 第65回 九州精神医療学会の報告
- 5
- 6 Vファーレン長崎 高田前社長が来院／第13回日本腎臓病薬物療法学会に参加して
- 7 病院レクレーションの紹介
- 8 住宅型有料老人ホーム「ほの香」が4月オープン

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます



新年のご挨拶



理事長 松本 純隆

新しい年を迎えるにあたって皆様にご挨拶させていただきます。

旧年中は皆様方に格別のご支援をいただきありがとうございます。令和元年9月をもって医療法人厚生会は創立60年目を迎えました。これまで以上に地域のために貢献できる道ノ尾病院、虹が丘病院でありたいと考えております。

虹が丘病院においては、今年の広報誌でご案内していたおりに念願の整形外科を始めることができました。高齢者の受診が増え、骨折などの整形外科領域の拡充が望まれていましたので、大変良かったと考えています。道ノ尾病院においても入院患者さんの高齢化が進み、認知症患者の対応も増えていますので、大変助かっております。駐車場の工事も無事終了しました。外来受診の患者さん達、職員のためになっていると聞いています。また、高齢者対策のため虹が丘病院の正面に住宅型有料老人ホームの建設を始めました。今年4月頃に開所し、30名程度の入居者を予定しております。今後共、地域の皆様方のご支援を引き続きお願い申し上げます。

昨年日本を振り返りますと、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本中が興奮に包まれたのではないのでしょうか。私も学生時代にラグビーをしていたことから、各試合を楽しむことが出来ました。にわかファンも含めてラグビーの知名度がもっと上がることが期待されます。

そしてなんとと言っても、今年はオリンピックも日本で開催されます。世界中のアスリートが集まり、日本選手の活躍がとても楽しみです。時差などもなく、リアルタイムでテレビ観戦が出来ますのでとても楽しみにしています。

皆様方にとってますます素晴らしい1年であることを心から願っております。医療法人厚生会、道ノ尾病院、虹が丘病院をよろしくお願いいたします。



院長 松本 一隆

令和2年を迎えるに当たり、御挨拶申し上げます。

昨年は、当院の入院、外来患者様の治療、支援に携わって下さった関連医療機関、関連事業所などの皆様方には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

昨年は、5月に新しい天皇陛下が即位され、31年間続いた平成から、新しい令和の時代が始まりました。このことは、医療機関のみならず、日本全体の大きな出来事でした。それから数か月が経過し、令和という言葉も徐々に社会に浸透してきたように思います。10月には消費税増税もありました。一方、昨年も8月の九州豪雨、9月の台風15号、10月の台風19号など、日本各地で多くの自然災害があり、改めて自然の脅威を感じるとともに、被災地や被災者の方々にとりましては、お見舞い申し上げます。

高齢化社会になり、医療の現場も高齢者の医療は、どの医療機関でも切り離せない問題だと思えます。当院の入院患者様の平均年齢も70歳を超え、精神疾患に併存した身体合併症をお持ちの方が多くを占め、日常生活動作が自身で行えなかったり介助を要する方が多くなりました。本来の精神科看護業務のみならず、食事や入浴介助などを要する方が急増しそのため、介護福祉士やパートの入浴介助員を配置するなど、これまで以上に多職種における連携を要する治療や支援を要する状態となっており、今後も同様の傾向は続くことでしょう。外来では、統合失調症患者さんの初診患者様は減少し、気分障害や不安障害、適応障害、認知症、発達障害、依存症関係の患者様が増加している印象を受けます。このように多様化する患者様に対し、今年も当院でできる限りの医療、支援を行っていくとともに、より良い医療を提供できるよう、職員一同スキルアップのための努力を行っていききたいと思います。今年、4月に診療報酬改定、7月には東京でオリンピックが開催されます。また、9月には当院開設60周年を迎えます。今年もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

第62回 日本病院・地域精神医学学会に参加して

2019年10月11日～12日に沖縄県で開催された第62回日本病院・地域精神医学学会に参加し「認知症におけるてんかん、てんかん様症状の発現率」について演題発表をさせていただきました。

認知症患者のてんかん合併率は一般高齢者よりも高いと言われています。また高齢者のてんかんはけいれん発作を伴わない複雑部分発作が多く、この発作は記憶障害を伴うなど認知症と似通った症状を呈します。その為、てんかんが認知症と診断されたり、認知症患者のてんかん発作が見逃されるケースもあり注意深い観察が必要となります。

今回、研究を行っていくことで認知症はもちろん、てんかんについても学び知識を深める事ができました。認知症患者の看護をしていく中で、今後も注意し観察、ケアを心がけていきたいと思えます。

看護師 山口大志



行動制限最小化委員会院内研修



当院では年2回、行動制限最小化についての研修会を行っています。同研修会の目的には「患者様の権利」や「接遇の向上」があり、下半期は医療、福祉に造詣が深い、崎陽合同法律事務所の伊藤岳弁護士をお招きし、「精神科リスクマネジメントについて～接遇とハラスメントを題材にして～」をテーマにご講演いただき、11月26日12月2日の2日間で約200名の参加がありました。

参加者からは「気づかず蔓延している、あしき空気や文化があることに、気づくことが出来た良い機会だった」「働く環境の大切さを改めて実感でき、今後ハラスメントに関して働きやすい環境が確保できるように取り組んでいきたい」等、多くの感想をいただきました。参加いただいた職員の意見や感想を参考にし、今後、病院のため、ひいては患者様のために、行動制限最小化小委員会の活動を充実させ、行動制限最小化に向けての取り組みを進めていきたいと思えます。



精神科医
福嶋 翔先生

本学会では、当院で行っている「デイケア患者のプログラム」と「アルコール教育プログラム」に関する調査研究を2題発表させて頂きました。具体的にはそれぞれのプログラムの紹介や、効果検証、実際に受けた当事者からの満足度調査などについて発表しましたが、発表後、何人かの聴取者から質問も頂きました。

2つとも集団精神療法に関する調査でしたが、「当事者にとって役に立つ」とスタッフが考え運営していても、実際に、経時的に評価尺度をつけたり、無記名でアンケートをさせてもらうなど検証してみると、初めて気づいた新たな一面がいくつか見えました。“臨床でやっていることに疑問を持ち検証する”という臨床研究の重要さや面白さを改めて知ることができました。

調査に協力して頂いた患者さん、そしてプログラムスタッフの方、ありがとうございました。

看護師
小森さん

看護研究をすることや、またそれを発表する機会を頂き、貴重な体験をすることができました。これからも自己研鑽を積みスキルアップにつなげたいと思います。御協力頂いたスタッフの皆様ありがとうございました。

臨床心理士
中西さん

心理検査に取り組んでくださる患者さまに寄り添いながら、検査結果を実生活で役立てられるようにお伝えする工夫をしていきたいです。また、今後も研鑽を積んで技術を身に着けたいと思います。

看護師
川上さん

学会初参加ということで、とても緊張しましたが、これまでやってきた研究内容をきちんと発表することができ、達成感のある充実した時間を過ごすことができました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

看護師
本田さん

発表を通して、貴重な経験ができました。また、たくさんの発表を拝聴し、自らの振り返りや今後について考える機会となり、これからの看護に繋げていきたいと思っています。

看護師
堤さん

自身の研究である「抗精神病薬を長期に服用している患者の便秘に対する意識づけへの取り組み」の口述発表を行いました。自らが看護研究を行ったり、他の人たちの研究を聞く事で自分の看護技術のスキルアップにつながったと思います。今回、研究発表・学会参加をさせていただきたくさんの事を学ぶ事ができました。ありがとうございました。

作業療法士 扇さん

看護研究をすることや、またそれを発表する機会を頂き、貴重な体験をすることができました。これからも自己研鑽を積みスキルアップにつなげたいと思います。御協力頂いたスタッフの皆様ありがとうございました。

**臨床心理士 中尾さん**

患者さんと関わる中で、普段から漠然と感じていたものを、研究として発表し、多くの方々と共有できる経験は、非常に励みとなりました。

**薬剤師 宿輪さん**

看護研究をすることや、またそれを発表する機会を頂き、貴重な体験をすることができました。これからも自己研鑽を積みスキルアップにつなげたいと思います。御協力頂いたスタッフの皆様ありがとうございました。

**看護師 灰田さん**

大きな会場での演題発表は緊張しましたが、よい経験となりました。様々な演題の聴取もさせていただきまので、今後の看護に生かしたいと思います。

**看護師 濱田さん**

大ホールでの発表ということで緊張しましたがとてもいい経験になりました。今回の研究をここで終わらせることなく、今後も継続していけるようにしたいと思います。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

**看護師 神田さん**

今回、初めて九州精神医療学会に参加させていただき、2日間を通して様々な症例や研究発表を聞くことができたこと、また自分自身も発表者として参加できたことは、とても貴重な経験となりました。精神医療学会を通して改めて精神科看護の難しさ、奥深さを感じた2日間となり、とても良い刺激を受けました。今回の経験と学びを、今後の看護に活かしていきたいです。

**講評**

**院長
松本 一隆**

令和1年12月12～13日、長崎ブリックホールにて第72回九州精神神経学会、第65回九州精神医療学会が開催されました。前回大会が今年1月で年2回開催となり、年末開催でもありましたが、当初の目標に近い1300名近くが参加されました。当日は、当院よりも神経学会に2演題、医療学会に11演題計13演題の発表がなされ、日頃の業務で培ったことに文献的考察も加えた有意義な発表がなされました。また、医療学会事務局の業務委託として5名の看護師が参加しました。お疲れ様でした。来年は熊本での開催になりますが、また多数参加できればと思います。

高田社長がご挨拶に来院されました



2019年12月2日、V・ファーレン長崎の高田明社長が来院されました。

昨年の来院と併せて2回目の訪問となりましたが、残念ながら退任のご挨拶となりました。

今年のV・ファーレン長崎の成績は残念ながらJ2で12位と念願のJ1復帰は出来ませんでした。ホームの最終戦では、道ノ尾病院から、赤間史隆先生と福嶋翔先生が観戦され、高田社長のサインもいただいて、病院受付に飾りました。

医療法人厚生会道ノ尾病院は長年サポートを続けています。来年度も継続してサポートすることをお話しました。また、かいこうでユニホームを利用してバッグを作成し、販売されたところ、大変好評で、今回はもっと大量に作成して欲しいと



©2018 VVN

ご依頼がありました。バッグに関しては広報誌「新星」をご参照ください。

天皇杯の準決勝が12月21日に行われました。とてもいい試合でしたが、勝利を勝ち取ることはできませんでした。

2020年は長女の高田春奈さんが新社長とされるそうです。新生V・ファーレン長崎の活躍が念願されます。

また、お話の中でココウォーク近くに計画されている、新球場、ホテルなどの複合施設についても、ジャパネットの高田旭人社長が意欲的に活動されているとのこと、近いうちにココウォーク近くのビルで準備を本格的に始めるとのこと。長崎の活性化のためにも明るいニュースではないでしょうか。

本院も昨年以上にサポートカンパニーとして応援することを誓い、契約更新を進めています。ホームゲームでは会場内に厚生会道ノ尾病院の広告が大きく出る予定です。職員、ご家族の皆様方にも引き続き応援の程お願い申し上げます。

第13回 日本腎臓病薬物療法学会に参加して

11/15~17に熊本城ホールで開催された日本腎臓病薬物療法学会に参加し、ポスター発表を行いました。本学会は学会名が示すように腎臓の機能が低下した患者さんの薬物療法に関する幅広い学習・研究を行うことにより、医療に貢献することを目的とした学会です。当院は腎臓を専門に診療する医療機関ではありませんが、腎機能に応じて、お薬の量を減らさないといけない場合があります。精神科である当院でも、そのようなお薬をたくさん使用するため、薬剤師には腎臓に関する知識が求められます。発表での質疑応答の際には闊達な議論が交わされ、他施設の薬剤師と意見交換もでき、非常に有意義な時間を過ごせました。

腎機能は加齢と共に徐々に低下していきます。しかし、生活習慣や薬の副作用によって一気に低下する場合があります。そのような低下を防ぐために看護師・管理栄養士・薬剤師が医師のサポート役としてではなく、それぞれの専門性を発揮し

ながら互いに連携して腎機能の低下を防いでいこうという仕組みとして、腎臓病療養指導士制度が動き出しています。薬剤師である私達は、腎機能に応じて適切にお薬が使用されているかを通して、当院の医療に貢献していきたいと思います。

薬剤師 淵上朋一



病院レクリエーションの紹介

今年度は冬のイベントが目白押しでした！



♪ハウステンボス歌劇団 の皆様によるコンサート



12月7日は、ハウステンボス歌劇団の皆様にお越しいただきました。

曲目のひとつに、だれもが耳にしたことのある「世界に一つだけの花」があり、振付を指導していただいて会場一丸となって楽しく踊りました。

また、道ノ尾病院をイメージしたオリジナルソングも披露していただき、皆様歌詞の情景を思い浮かべながら聞き入っていました。



♪クリスマス会



12月20日はクリスマス会が行われました。午前の部・午後の部に分かれ、病棟ごとに出し物を披露していただきました。託児所のかわいい子供たちによる出し物もあり、みなさんに笑顔をお届けしていました。カラオケやダンス、トーンチャイムによる演奏など、たくさんの演目で大盛り上がりとなりました。また、抽選会も行われ、当選者にはクリスマスプレゼントが配られました。

♪虹が丘病院

矢加部先生によるクリスマスライブ

12月24日には、毎年恒例となっている矢加部先生のコンサートが行われました。今話題の朝ドラ主題歌や、懐かしの名曲、みなさんが慣れ親しんだ演歌など、様々な楽曲を演奏していただきました。みなさん手拍子をし、それぞれ歌を口ずさんでました。体を左右に揺らしてリズムにのり、とても楽しまれていました。



住宅型有料老人ホーム

ほの香

いよいよ今春4月オープン

「あなたらしい暮らし」を優しくサポートいたします。

- ・ワンチームの優しいスタッフによる、手厚い介護を致します。
- ・四季折々人生の大先輩の方々に、共に寄り添います。
- ・「ここはよかね、ここに来てよかったね。」とのお声がいただけるように。

随時入所ご相談受付中

TEL095-856-1111 (担当 宮脇、岩崎、古場)



©2018 VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末(iPhone・iPad)は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示